

## 第7節 地域リハビリテーション支援推進事業

石川県では、平成14年度より高齢や障害のある住民が、寝たきりや要介護状態になることを予防する介護予防を推進するため、リハビリテーションが総合的かつ一貫性をもって提供され、また身近な市町で日常生活動作の仕方や趣味活動、社会活動の方法を相談でき、さらに、必要に応じ適切な福祉用具を活用しつつ自立支援（指導）が受けられるよう、地域リハビリテーション支援推進事業を実施している。

### 1 地域リハビリテーション実務者研修会

（石川県リハビリテーションセンター主催の研修に共催実施）

#### (1) 目的

高齢者施設において生活機能低下を早期発見し、早期対応するために、地域支援事業や新予防給付による介護予防が進められている。今回、高齢者施設でのリハビリテーションの充実を図ることを目的として、施設職員を対象に生活機能向上に向けた具体的なアプローチ方法について学ぶ研修を実施する。

#### (2) 開催日時

平成21年10月6日（火）

10時50分～15時30分

#### (3) 対象者

介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所介護、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、市町地域包括支援センター等職員

#### (4) 内容及び参加者

「高齢者施設におけるリハビリテーション」

参加者：48名

#### 講演

日常生活動作自立に向けたアプローチ

講師 金沢脳神経外科病院

作業療法士 東川 哲朗 氏

廃用症候群に対するアプローチ

講師 金城大学医療健康学部

理学療法士 木林 勉 氏

誤嚥性肺炎予防に対するアプローチ

講師 城北病院

言語聴覚士 竹内 満 氏

### 2 福祉用具・住宅改修相談支援事業

石川県では、平成10年度より地域における高齢者や障害者の自立と社会参加を促進するため、福祉用具や住宅改修等の相談に応ずるとともに、福祉用具等の普及を図る目的で、当センター及び能登北部保健福祉センターに福祉用具・住宅改修相談センターを設置した。平成16年度より、地域リハビリテーション支援推進事業の一環として実施している。実施にあたっては、県リハビリテーションセンターとの連携のもと、地域での福祉用具の相談や普及、住宅改修に対する支援を行っている。

#### (1) 福祉用具の展示・試用

平成21年度の福祉用具の試用貸し出し状況については、延べ8件だった（表1）。

表1 福祉用具貸し出し状況

福祉用具種別	貸出件数
車いす（電動三輪車）	1
クッション	0
手すり	0
排泄用具	0
入浴用具	0
移乗補助具	6
その他	1
合計	8

(2) 福祉用具活用研修会

(石川県リハビリテーションセンター主催の  
研修に共催実施)

ア 目 的

起居、移乗、排泄、入浴は人間が人間を  
持ち上げる動作が含まれており、介護の負  
担が大きい日常生活動作であるが、福祉用  
具の利用、生活環境を整えることで負担の  
軽減を図ることができる。しかし、現実には  
介護環境が未整備で、介護者の腰痛の問題  
なども生じやすい。そこで介護負担の軽減  
をするため、福祉用具の種類や活用方法、  
生活環境整備について研修会を実施し、起  
居、移乗、排泄、入浴に関する介護技術の  
向上を図ることを目的とする。

イ 開催日時

平成 21 年 7 月 8 日 (水)  
10 時 30 分 ~ 15 時 30 分

ウ 内 容

テーマ：介護職員の腰痛予防のための  
福祉用具の活用と環境整備について  
講義「腰痛予防の考え方」  
講師 石川県リハビリテーションセンター職員  
講義「腰痛予防のための福祉用具の活用」  
講師 石川県リハビリテーションセンター職員  
実践報告「施設での取り組み紹介」  
講師 社会福祉法人南陽園  
橋爪 隆明 氏  
実技「腰痛予防に関する福祉用具の活用体  
験」～起居、移乗、排泄、入浴を中心に～  
講師 石川県リハビリテーションセンター職員

エ 参加者

高齢者及び身体障害者関連施設職員等  
(リハビリテーション専門職以外)23名